

会 議 録

会議の名称	社会教育委員の会議（令和元年5月定例会）会議録
開催日時	令和元年5月27日（月）午後2時から午後3時55分まで
開催場所	保谷庁舎3階第2会議室
出席者	委員：攝賀議長、長谷川副議長、岩崎委員、川原委員、木下委員、 沼本委員、原委員、原田委員、矢野（真）委員、矢野（尊）委員 事務局：掛谷社会教育課長、江藤課長補佐兼社会教育係長、青木主事
傍聴者	1名
議 題	(1) 社会教育行政のあり方について (2) その他
配付資料	資料1 今後の社会教育行政の運営体制について（提言）（案） 参考資料 1 西東京市の教育 5月15日号 2 西東京市教育計画 概要版
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>●平成31年4月の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 社会教育行政のあり方について</p> <p>○議 長：本日の定例会で提言内容の協議は最終としたいが、本日中にまとまらない場合は今任期最後となる6月の定例会で最終チェックをし、6月に議長・副議長で教育長に提言書を提出するスケジュールとする。</p> <p>○議 長：前回の会議で議論した「3 社会教育行政の運営体制について」については、5月17日に起草委員会を開催し、議論して修正したものを本日の資料としてお示ししているのでご確認いただき、「3 社会教育行政の運営体制について」の方向性と内容精査を本日固められればと思っている。 それでは、皆様のご意見等をお願いしたい。</p> <p>○委 員：学校教育と社会教育課を結びつけるセクションは、企画政策課のような調整機能がある課に設置した方がよいのではないか。統括コーディネーターの配置も副市長等が関わる部署への設置がよいのではないか。</p>	

- 委員：社会教育課の組織について等は、あまり細かく踏み込んではっきりと表現するかたちではなく、組織の役割と方向性だけを提言した方がよいのではないか。
- 事務局：前回の提言と同じ程度に表現されているので、事務局としては特に問題はないと考える。
- 委員：生涯学習センター機能を教育委員会においても、市長部局との連携は図れると感じる。
教育計画の主な取組に「生涯学習行政のネットワーク化」という記述があるので、そのような記述を加えるとよい。
- 委員：組織は図にするとわかりやすいが、文章で表現しているのでよく読まなければならぬかもしれない。
- 委員：市民が読んだときにわかりやすくするために、目次をつけてみてはどうか。
- 全委員：賛成。
- 委員：地域学校協働活動というと小学校だけのイメージがある。
- 事務局：「小・中学校を核とした地域学校協働活動」と記述しているのでよいのではないかとも思われる。
- 委員：社会教育主事の部分の表現について、今一度よりよい表現があるか考えて書いてみる。
- 委員：社会教育課の組織について詳細に記述している部分を、生涯学習センター機能は生涯学習行政のネットワーク化を担うという表現を加えて、簡潔にまとめてみることにする。
- 議長：「3 社会教育行政の運営体制について」の内容については、以上の議論をもって終了としてよいか。
- 全委員：よい。
- 議長：つづいては、「はじめに」「1 今後の社会教育に求められるもの」「2 今後の施策の方向」「3 今後の社会教育行政の運営体制について」の全体を合体し通して読んでみたところで、最終的な修正等のご意見をお願いしたい。
- 委員：2ページの下から5段目「結びつける」を「つなげる」という表現にする。

- 委員： 3 ページの 2 行目「社会構造の変化」を「社会状況の変化」にする。
- 委員： 3 ページの 13 行目の「高齢者」を「地域」にする。
- 委員： 3 ページの 14 行目の「また、男性高齢者が地域に関与できる仕組みづくり社会教育に科せられている役割と思われる。」という表現を、「たとえば、高齢者などが学習したことを地域に還元するような循環型学習社会の実現により、地域に関わりを特に持たなかった人々が地域に関与できる仕組みをつくることも社会教育に課せられている役割と思われる。」にしてみてもどうか。
- 委員： 3 ページの 10 行目の文章を言い切り型にする。
- 委員： 高齢者についての社会教育についての記述が少ないかもしれない。
- 委員： 3 ページの第一の記述の中に触れられているので、その部分の記述をふくらませてみてはどうか。
- 委員： 賛成
- 委員： 3 ページの 18 行目を言い切り型にする。
- 議長： 次に「2 今後の施策の方向」についてはどうか。
- 委員： 何箇所かのやわらかい文末表現を、言い切り型にかえてしまってはどうか。
- 委員： よいと思う。
- 委員： 6 ページのファミリーサポートの記述が少々わかりにくいかもしれない。
- 委員： 8 ページ目の 9 行目の「高齢者の概念を捉えなお、今新たな高齢者観にもとづいた支援策を考える必要がある。」を、よりわかりやすい表現にしてみてもどうか。
- 委員： 7 ページの NIMIC 等の施設名称を正しい表記にする。
- 委員： 「地域活動や他世代交流活動」という表現を 8 ページの記述の中に入れる。
- 議長： 以上で文章全体の表現の修正等はよろしいか。
- 全委員： よい。
- 委員： 本日委員の皆さんから頂いたご意見や修正点を反映した提言文を作成するの

で、事務局にも字句の最終チェックをお願いします。

- 事務局：事務局もチェックした最終案を委員の皆様にメール送信し、さらに修正がある場合には6月14日までに事務局に返信をしていただきたい。
修正等があった場合には、最後の会議である6月の会議で確認・協議をし、最終的な提言文とする運びとする。

(2) その他

提言提出予定日 6月27日(木) 午前11時

【次回会議】 6月24日(月) 午後2時
保谷庁舎1階会議室